



原子力空母はいらない！10.14 横須賀集会 1800 人で開催・支部から仲間 3 名が参加！

10月14日午後1時“原子力空母はいらない！10.14横須賀集会”が横須賀市内のヴェルニー公園において開催され神奈川県外を含め1800人が参加しました。

今年は1973年にアメリカ軍の空母が横須賀に配備されてから45年、さらに原子力空母の母港化が強行されてから10年になる節目の年です。朝鮮半島をめぐる戦争の危機が、対話によって平和への道が開かれつつある一方で沖縄をはじめ神奈川、東京そして日本全国で米軍基地の機能強化がすすめられ、北東アジアでの軍事的な緊張をあおる異常な事態が進行しています。この状況を推進しているのが憲法9条改悪で戦争する国づくりへの道をひた走る安倍政権です。



主催者挨拶する小田川全労連議長

しかし、沖縄の辺野古新基地建設問題を最大の争点にたたかった9月30日投票の沖縄知事選挙で、故翁長雄志県知事の遺志を継いだオール沖縄推薦の玉城デニー氏が、安倍政権に担がれた候補に圧勝したことが象徴するように、国民と憲法を無視して暴走を続ける安倍政治に対して野党と市民の共闘が大きく前進しつつあります。この力をさらに広げようと横須賀に結集した仲間は集会後に市内を元気にパレードしました。



集会に参加した県南支部のなかま

神奈川県南支部からは集会・パレードに扶桑運輸分会と合同分会から3名が参加しました。

川崎労連 29 回大会に支部から 4 名参加

横須賀集会が開催された同じ日に川崎市内のミューザ川崎で川崎労連が第29回定期大会を開催しました。神奈川県南支部からは佐藤章委員長、大島書記長、金崎書記次長、佐藤貴司執行委員の4名が参加しました。

右の写真は大会で発言をする佐藤章委員長。

